37 01 06 01 03 024

事務事業評価表

1．基本事項

作成日　令和03年01月19日（火）

事務事業	農産物安全安心対策事業	担当課	農業振興課	担当係	農業政策係	管理番号	3706
第2次総合計画		事業区分	■ 自治事務	□ 法定受託事務 →	対象拡大 有□ サービス拡充 有□		
行政計画分野別名 大項目	200003 活力とにぎわいにあふれるまち（産業振興）	根拠法令個別計画等	深谷市廃プラスチック収集処理活動補助金交付要綱				
中項目	200001 農業のブランドを高め、伝えるまちづくり						
小項目	200002 農畜産物の販売流通体制の充実						

事業概要	環境に配慮した農業生産と安全安心な農産物の供給を図るため、農業経営者から排出される園芸用廃プラスチック類（廃ビニール、廃ポリエチレン）の処分費用の一部を補助金として交付するとともに、野菜の残留農薬分析の結果を公表することで、深谷産農産物の安全性が認知され、消費者の信頼性を高める。
目的 ※何のために	農産物の安全性を確保し消費者の信頼を得るため
対象 ※誰・何を対象に	深谷市農業用廃プラスチック収集処理運営協議会 消費者
手段 ※どのように	深谷市農業用廃プラスチック収集処理運営協議会への補助金交付 残留農薬検査結果の公表
成果 ※何を求めるか	園芸用廃プラスチック類の適正処理、野焼きや不法投棄の防止 消費者の信頼性向上
執行体制	■ 市職員　■ 一部委託　□ 全部委託　□ 指定管理　□ 市民ボランティア　■ ＮＰＯ 民間団体　□ その他（　　）

事務事業を構成する予算事業

会計区分	款		項		目		細事業名	前年度決算額（円）
一般会計	06	農林水産業費	01	農業費	03	農業振興費	園芸用廃プラスチック収集処理事業	0
一般会計	06	農林水産業費	01	農業費	03	農業振興費	農産物安全安心対策事業	1,488,400
	00		00		00			0
	00		00		00			0
	00		00		00			0

本事業の主な業務

・ 深谷市農業用廃プラスチック収集処理運営協議会への補助金交付	・
・ 残留農薬検査結果の公表	・
・	・
・	・
・	・
・	・

2．事業費（投入コスト）

単位：円

区分			平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	
年度別計画			補助金交付（廃プラ協議会） 残留農薬検査	補助金交付（廃プラ協議会） 残留農薬検査	補助金交付（廃プラ協議会） 残留農薬検査	補助金交付（廃プラ協議会） 残留農薬検査	補助金交付（廃プラ協議会） 残留農薬検査	
事業費	予算（現額）		1,575,000	1,850,000	2,090,000	1,751,000	3,660,000	
	決算額		1,395,720	1,409,670	1,488,400	0	0	
	財源内訳	国支出金	0	0	0	0	0	
		県支出金	0	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	0	
		他特定財源	0	0	0	0	0	
		一般財源	1,395,720	1,409,670	1,488,400	1,751,000	3,660,000	
人件費	従事職員数（人）		0.53	0.49	0.18	0.46	0.46	
	人件費相当試算 ※1		4,122,870	3,813,180	1,414,980	3,748,080	3,748,080	
			0	0	0	0	0	
（総事業費試算）			5,518,590	5,222,850	2,903,380	5,499,080	7,408,080	

※1　人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

事務事業評価表

３．評価指標

グラフ表示	区分	指標名		単位	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標なし
□	活動指標１	農家戸数	目標値	件							■
			実績値		4,179.00	4,186.00	4,186.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		対象者をコントロールできないため目標値を設定しない							
		農地台帳									
□	活動指標２	補助金交付額	目標値	千円							■
			実績値		1,270.00	1,127.00	1,223.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		年度により年間収集量が違うため目標値を設定しない							
		当該年度実績報告書による									
■	成果指標１	塩化ビニール収集量	目標値	t							■
			実績値		41.37	35.00	35.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		年度により年間収集量が違うため、目標設定なし							
		当該年度実績報告書による									
■	成果指標２	ポリエチレン類収集量	目標値	t							■
			実績値		99.79	90.00	88.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		年度により年間収集量が違うため、目標設定なし							
		当該年度実績報告書による									
■	成果指標３	野焼き・不法投棄件数	目標値	件	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	□
			実績値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		適切に処理されることを目標とするため、０件で設定							
		問合せ件数									
□			目標値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	□
			実績値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠									

４．観点別評価　（A：目標値どおり（以上）　B：ほぼ目標値どおり　C：目標未達成　ー：目標値の設定がないもの）

活動 （意図した活動を行っているか）	-	目標が設定できないものは、活動指標の数値の推移を説明 補助金交付団体である協議会に対して、補助金１，２２３，０００円を交付した。
成果 （意図した成果が上がっているか）	-	目標が設定できないものは、成果指標の数値の推移を説明 収集量については、ほぼ横ばいとなっている。野焼き・不法投棄件数は０件であった。
効率性 （効率的に事務を行っているか）		目標が設定できないものは、効率指標の数値の推移を説明

評価者	農業政策係長　荻野　光雄

５．前年度改善改革プラン達成状況

前年度 改善・改革案	
達成状況 及び その効果	

事務事業評価表

６．所属長評価（今後の方向性）

事務事業	農産物安全安心対策事業	担当課	農業振興課	担当係	農業政策係	管理番号	3706

■ ① 現状のまま継続
□ ② 見直して継続 →
□ ③ 拡充・重点化（コスト投入）
□ ④ 目的達成による終了
□ ⑤ 廃止を検討

- □ 委託化等の検討
- □ 成果向上のための改善
- □ 効率化のための改善
- □ 事業規模の縮小
- □ 他の事務事業と統合

評価の内容説明

農業者から排出される園芸用廃プラスチック類の適正な処理を推進していくものとする。

評価者	農業振興課長　杉本　公明

上記を実施するための具体的な取り組み内容は？

７．改善改革プランと今後の課題

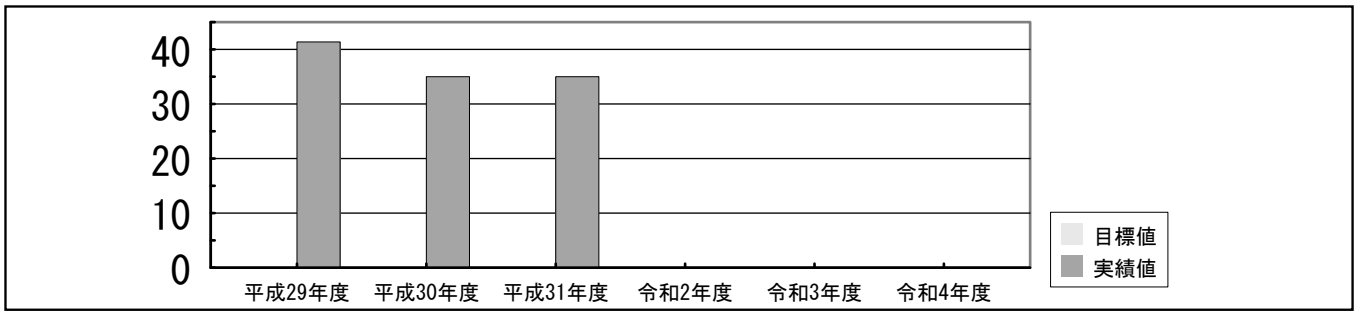
改善・改革案	

８．今後の課題(年度別計画等により実施する取り組み等)

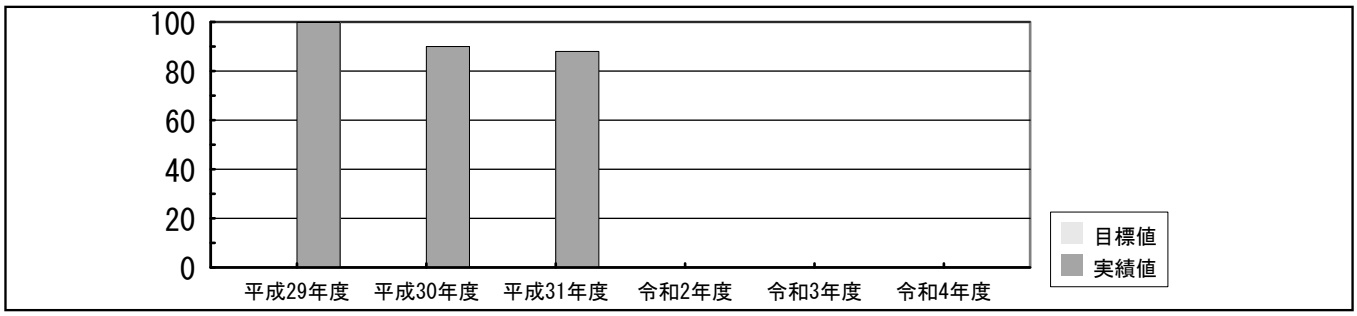
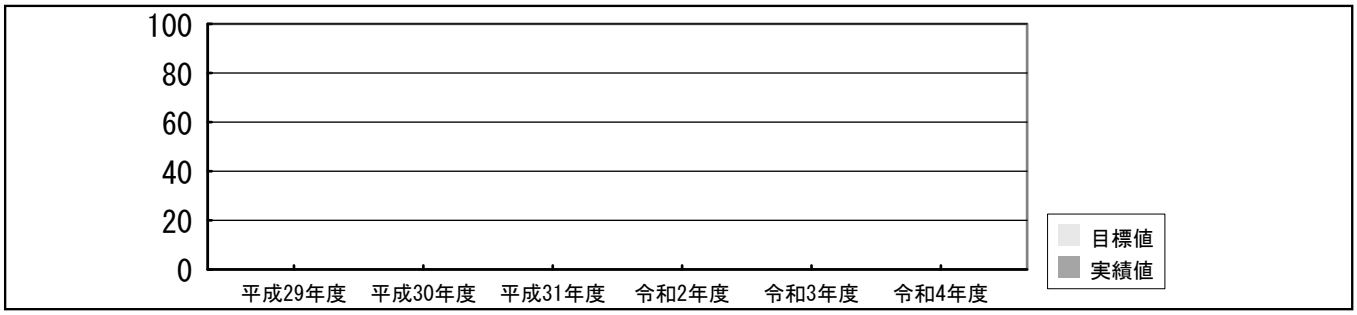
今後の課題	

９．評価指標グラフ

区分	成果指標１	指標名	塩化ビニール収集量



区分	成果指標２	指標名	ポリエチレン類収集量



区分	成果指標３	指標名	野焼き・不法投棄件数